

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 尾関武弘
 幹事 伊豫田博明
 会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No.33 意識を喚起し——進んで行動を CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会

第895回 平成13年4月3日(火)

講演 “東山植物園の魅力”

東山植物園 園長 森田 高尚氏
(紹介 水野(民)君)

先週の記録

第894回 平成13年3月27日(火) 晴

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	69(62)名	出席	47名
出席率	75.80%		
前々回	3月6日	(修正出席率)	100%

◆ゲスト紹介

千種消防署 副署長 三芳 壽和雄氏

傘寿のお祝い



今月31日に80才を迎える水野民也君に、会長よりお祝い金と花束が贈られました。

伊豫田幹事報告

1. 本日例会終了後、諮問委員会を開催致しますので諮問委員の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
2. ロータリーの友4月号とガバナー月信が来ますのでお帰りにお持ち下さい。
3. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。

尾関会長挨拶

皆さんこんにちは。

中国に出張しまして実際に街を歩いて見ますと、台湾や香港の歌手のポスターやファッション雑誌があふれています。物作りや生産と云う面では中国がリードしていますが、ファッションで重要な情報という面では台湾や香港が中国をリードしています。そしてその台湾や香港は日本への強い憧れをもっており、メイドインジャパンの製品への欲求も強く“哈日族”と称して、何でも日本大好き、日本の最先端の情報を一番に自分につけて喜ぶ日本びいきの若い人達もいます。中国の国内市場に参入しようとするれば台湾、香港という中国語圏からの情報発信が意味をもちます。既に日本の出版社が台湾に進出し中国語のヤング向けファッション雑誌の出版を始めています。又その中国語圏へのアプローチと云う意味では日本と韓国は共通の課題も持っています。

北方の上海をめざすファッション都市、大連は韓国から地理的にも近く交流も盛んであります。2~3年前からヤング向けの渋谷系ファッション専門店が韓国の東大門市場から商品を仕入れる様になり、それまで韓国国内では主流ではなかった東大門市場や南大門市場のアパレルメーカーが輸出産業の花形として期待される様になり、いくつかの韓国企業は日本に事務所を構え、渋谷を始め日本国内に売り場を確保する様になりました。渋谷系ファッションの代表とも云えるエゴイストは、韓国生産から中国生産へとシフトしていましたが、ロットや納期の問題から再び韓国生産に戻ろうとしています。同時に韓国のアパレルメーカーと組んで韓国国内でのライセンス販売を始めました。更に東南アジアとのネットワークも充実して来て、シンガポールとは2国間の貿易協定を結ぼうという動きもあります。タイとは“日・タイ経済人ネットワーク”が設立されています。この様な動きはIT革命に負けず劣らず非常に速いテンポで進んでいて、現実には常に我々の予想より先を行っているというのが実感であります。

ニコボックス

萩原喜代子

今月末よりオーストラリアへ行って参ります。3月30日に発ち、4月9日に帰ります。2回お休み致します。よろしく願い致します。

森 幸一

麻雀で優勝の金一封を頂きましたので心ばかりニコボックスに入れさせて頂きます。

水野 民也

今月31日に傘寿になります。これから宜しく!

竹内 眞三

桜の花が咲き始めました。春ですネー。

足立 一成・青山 敏郎
浅井 誠寿・藤田 千津子
福井 章・林 哲央
池田 隆・池森 由幸
石黒 正則・伊藤 健文
伊豫田 博明・神谷 幹雄
神崎 住恵・加藤 大豊
河村 政孝・菊池 昭元
小杉 啓彰・小山 雅弘
小坂 井盛雄・黒須 アイ子

牧野 登志子・柵木 充明
松居 敬二・宮尾 弘和
西川 豊長・大口 弘龍
尾関 武弘・鷺谷 男寛
佐久間 良治・佐野 正男
笹野 義春・鈴木 井良
鈴木 理之・田部 人昭
谷口 優・舎人 経勝
和田 正敏・山田 節美
山本 英次・吉田
吉田 玄
水野民也君の傘寿を祝って

合計

88,000円

地区協議会開催間近のお知らせ (ホストクラブ：東知多RC)

日時 4月14日(土)
登録 9:30~10:20
会議 10:30~16:00
場所 名古屋国際会議場

◎特別出席者

次期東名古屋分区ガバナー補佐 水野 賀續
次期地区青少年交換委員会委員長 大谷 和雄

◎出席義務者

次期地区インターネット委員会 委員 大口 弘和
次期 会長 笹野 義春
次期 幹事 佐久間良治
次期クラブ奉仕委員長 加藤 大豊

次期会員増強副委員長
次期職業奉仕委員長
次期社会奉仕副委員長
次期環境保全副委員長
次期国際奉仕委員長
次期新世代委員長
次期ローターアクト委員長
次期ロータリー財団委員長
次期米山記念奨学副委員長
次期会計副委員長

西野 英樹
堀江 宏輝
森 幸一
小杉 啓彰
池田 隆
三好 親
水谷 祥督
神崎 住恵
成田 良治
吉田 節美

◎入会3年未満出席義務者

牧野登志子・山田 壽勝

※お忘れなきよう、ご出席お願いいたします。

「ロータリーの友」クエスチョン

Q:なぜ会員は「友」誌を購読しなければならないのですか?

A:ロータリアンには3つの義務があります。その中の1つにロータリーの機関雑誌、日本では「ロータリーの友」またはRI発行の「ザ・ロータリアン」の購読義務があります。そのほかに会費を納める義務、例会に出席する義務とがあります。しかし、義務とかでなく、「友」を通じての情報交換、会員同士の親睦を深め、あるいは他のクラブや地区の活動を知り、それを自分たちの活動に生かしたり、あらゆる面でロータリーの綱領を推進するのに活用していただくのが私たちの願いです。

Q:「友」の名付け親はだれですか、またその由来は?

A:1952年8月16日、岐阜長良川畔の大竹旅館で開かれた2回目の準備会で、岐阜RCの遠藤健三準備委員の案で名称は「ロータリーの友」に決まりました。後日談で、雑誌「主婦の友」からヒントを得たとのことでした。

Q:雑誌月間の目的は何ですか?

A:公式機関誌の「ザ・ロータリアン」誌またはRI理事会が指定した地域雑誌の購読と活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(「友」など)やRIからの出版物に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることを目的としています。

Q:「友」の編集方針を聞かせてください。

A:日本のロータリー35地区のRC会員のためにRCおよび会員の活動状況を紹介し、親睦を深め、また内外における各種ロータリー情報を掲載してロータリー活動を促進し、その発展に寄与することを、その目的としています。また投稿記事は原則としてすべて掲載していますが、地区やクラブの批判や個人を誹謗するもの、公序良俗に反する記事は一切掲載しません。一人でも多くの会員の原稿を、一日でも早く載せるために字数を制限したり、趣旨を変えずに削除したりする場合があります。投稿原稿の取捨は、常任委員会・編集部一任となっています。